

# さわがせ

号数 第 3 3 3 号  
発行日 令和 5 年 1 月 8 日  
発行所 金光教団教会  
〒 550-0011  
大阪市西区阿波座 2-2-10  
TEL&FAX 06(6541) 6313  
mail : kagiyama2001@ybb.ne.jp



令和 5 年元旦祭におかげをいただき参拝されました (1月1日)

## お土地の神様・金乃神様に感謝

教会長 鍵山 公生

教祖 140 年の新年を迎えおめでとうございます。

新しい年を迎えることができ、ここまで命を授けられている喜びと感謝の心を表しましょう。

人間はなぜ生きているのか、何のためにこの世に生まれてきたのか。その理由を知る人は少ないかと思えます。それは神様のみぞご存じで、神様の絶大なるお考えによることでしょう。そこで命を戴いている以上その命をいかに伸ばし、いかに生かして人助けに貢献することができるかを考えていけばいいのです。

金光様は「人を助けるのが人間であると、他の動物は我が子が水に落ちていても助けることができない。人間が見ると助けることができる。人を助けることができることがありがたいと心得て信心をせよ」と、お互い助け合って生きてこそ



人間の値打ちがあり、他の動物でも互いに助け合いながら生きているものも多くあります。

人間は万物の霊長と言われているのに、自分の助かることのみにとらわれた生き方では他の動物にも劣っていることになります。それは人間が神様から人を助ける力を授けられているからで、その能力を発揮してこそ人間というものです。

重ねて言えば、知恵の優れた人は知恵によって、物づくりに長けた人はその技術を発揮して、体力のあるものはそれを生かし、芸能に優れたものは人を楽しませるなど、優れているといっても、偉ぶることもなく、足らぬからといって卑下することもなく、人それぞれ神様から与えられた能力を持ち合わせているものです。

### 「金光教の金光とは」

孫があるとき「金光というのはどういう意味？」と訪ねてきました。毎日神様に手を会わすようにと教えられ、拝礼していながら、その意味がよく理解できていないのです。信心しておられる方の中にも十分わかっていない方もあるのではないかと感じました。そこで少しずつその意味を話していきました。

「金光」という名の「金」はお金のことではないのです。金光教のことを全く知らない人は、「金」という字を見たたん、韓国から来た宗教か？とか、あるいはお金に結びつけ、そこから商売の神様と考える人、そして中にはいかがわしい宗教と考える人もあるかもしれません。

教祖様は、「金光とは、<sup>きんひか</sup>金光ると書き、<sup>あか</sup>明い方はだれでも見ようが。おいおいには明い方へ人が来る。」と仰せられ、また、「<sup>こんこう</sup>金光とは<sup>きんひか</sup>金光るということである。金は金乃神の金、光は天つ日の光があれば明るい。世界中へ金乃神の光を光らせておかげを受けさせるということである」と教えられました。

教祖様の時代には、昔から病気を始め、あらゆる災難に出会うその原因は何かと探求する中で、方角や日柄を見てもらわなければ建築、結婚、旅行など何をしていけなと言われて、それに従わなければ<sup>こんじん</sup>金神という神様の祟りを受けると言われていました。そのような祟りに会いたくないと思われた教祖様は、とても素直で実直な方でしたから、他人より以上に素直に守られたのです。しかし結果として<sup>こんじん</sup>金神様の祟りを受けて7つの墓を築かねばならないという難儀に出会われたのです。その上に教祖様自身が湯水ものどを通らないという大病にかかられたのです。そこで親戚の人達が集まっ



て神様に回復の祈願をされたのでした。その中で拝礼していた一人に神がのりうつり、神様からの伝えがあったのです。今まで決まりであった方角をみたり、日柄を選ぶことは、金神様にごまかしをしていたのであることを教えられたのです。そこから教祖様は今までの神様へのご無礼を詫びられ、難病も助かり、神様も祟りさわりをする神様ではなく、人を守り、助けてくださる神様ということが理解でき、教祖様の信心が真の信心となったのでした。

今まで金神様は祟りさわりする怖い神様で、できる限り除けとけ、逃げとけ、回るとけという考え方が神様の無礼になっていたことがわかり、そこから祟りさわりする金神ではなく、私たちを守り助ける土地の神様・金乃神様ということが明らかになりました。それからは何事も金乃神様にお頼みするようになり、そして神様のお守りをいただくようになったのです。

また金光の光とは前述のように日の光・すなわちお日様のことで、天を司る神様の象徴のことで、そこに天地という名が付けられ天地金乃神様という御神名が定まったのでしょ



今年は、これまでよりサイズアップした教会長先生お手製の門松が、玄関を彩りました。

### 建築するときの地鎮祭は何のため

家を建築するとき、地鎮祭というお祭りをしますが、昔からそれは土地が揺れ動いているので、お鎮まりいただき、金神様の祟りが無いようにと願ったのです。しかし土地は先祖から譲られたり、私たちが買い求めたものであっても、元を正せば神様の御物で、建築するのに神様にお断りすることが基本です。それをわきまえず勝手に建築すれば、神様のお叱りを受けるのは当然です。施主が建築に当たって、住人が健康で安心な生活ができますようにとお願いするのは基本です。

建築にあたり祟り障りがあると困るから地鎮祭を仕えるというのではなく、何事をするにも神様の御物を使わせていただくのですから、まず土地の神様・金乃神様にお断りをさせて頂くのが基本と考えるべきです。

### 信心の三要素

私たちはその天地金乃神様のおかげを受けて日々生活させていただいているのですから、お礼の心を現わさなければなりません。信心の三要素として、お礼、お詫び、お願いといわれています。

ある教会で一日百回ありがとうと言う稽古をしようと言って取り組まれたそうです。手に触るものすべてにお世話になります。ありがとうと言って繰り返すのです。

初めは簡単なことだと取り組んだのですが、そのうちに回数にこだわって、お礼の中身がおろそかになったというのです。回数はともかくとして、ありがとうというお礼の心はいつも持ちたいものです。

### 私の取り組み

私は十数年前より境内はもちろん、教会周囲の道路掃除をしています。

午前4時半に起床して身の回りの支度をして、神様に初水をお供えし、広前の雨戸や玄関の門を開け教旗を掲揚します。道路に向かって地域の人をはじめ道路に繋がる世界の人々の幸せを願い、境内に向きを変えてお土地にお礼をし、お広前や信徒会館、居宅などにお礼をし、今日の無事安全を願います。それから箒とちり取りを持ち、境内を始め教会周りの道路や、向かいの学校周辺など約一時間ほど掃除をします。そして午前6時に広前に戻って朝の御祈念をさせていただきます。



毎日休まず続けていると、近所の役員の方が見ておられたのでしょうか。昨年11月に大阪市長から道路美化運動の協力者として、思いがけない感謝状を下されたのです。

私は感謝状など戴くつもりではなく、神様のお土地にお世話になっているそのお礼に道路掃除をしていたのです。感謝状をいただくのも結構ですが、それより自分の健康を保持することができるのが何より有り難いことと喜んでいるのです。

信奉者の皆様に私と同じことをせよというわけではありませんが、今年は皆様の身に合ったことで、神様にも人々にも喜んでいただけるご用にお使いいただきたいと思います。

さわかぜは、[鞆教会ホームページ](#)からもお読みいただけます。



**金光教うつぼ教会**

**検索**

<https://utubo.konko.info/>

京都にお住いの木村喜代美さんは、金光新聞の「俳壇」の欄へ投稿しておられます。掲載されたものを「紹介」します。

### 「俳壇」

春日傘くるくる岬の影しのぶ

(令和4年6月8日号)

青空へ切先入れる夏つばめ

(令和4年7月13日号)

御神田パズルの如く水すまし

(令和4年8月10日号)

凧ぐ池の面かすめる赤とんぼ

(令和4年10月12日号)

白秋や筆動くまま余白あり

(令和4年11月9日号)

仄暗き館に香る菊人形

(令和4年12月14日号)

## 越年祭・ひとかた行事

年末も押し迫る、12月30日、一年間の御礼と、これまでに知らず知らずに犯した罪汚れをお取り払いいただく神事、越年祭・ひとかた行事が、執り行われました。



## 信徒会長新年のご挨拶 渡辺 秀孝

新年あけましておめでとうございます。

信奉者の皆様には良きお年をお迎えになられました事とお慶び申し上げます。

今年は、教祖140年の節の年、「大きなおかげ」の頂ける年です。「願う氏子におかげを授ける」、願う事は目標を決めて達成することだと思えます。大きな願いを持ち、大きな「おかげ」を頂く年にしましょう。

また今年は140年記念集会在6月にありますので、参加をお願いします。皆様のご多幸をお祈りしまして挨拶とさせていただきます。



# さわかぜ賛助会

さわかぜ賛助会員として、多数の方々のご協力により、機関紙の継続させていただき、令和4年は7回の発行をさせていただくことができましたことは、誠に有り難いことでございます。

本年もより一層、皆様の機関紙としてお役に立ちたいと念願しております。

今年度賛助会員としてお申し込みいただいた方は次の方々です。(敬称略)

なお、令和4年度の収支決算報告は次ページのとおりです。

## 「愛の募金箱」ご協力感謝！

広前に設置された「愛の募金箱」に寄付されました皆様からの令和4年度募金と、ボランティアによる古紙回収の収益金を合わせた金額は、135,157円でした。日本赤十字社大阪支部へ10万円送金させていただき、青い鳥点訳グループ（点字ボランティア）へ2万円寄付いたしました。

皆様のご協力に感謝申し上げます。今年度もご協力お願いいたします。



## 教会行事の日程及び時間の変更について（お知らせ）

令和5年より、教会の祭典はすべて午前10時30分より執り行います。（午後2時からの祭典はございません）

また、毎月24日に執り行っておりました月例霊祭は、24日前後の土曜日もしくは、祝日に変更いたします。祭典日及び祭典時間をご確認いただき、ご参拝ください。



### 令和5年1月

8日（日）初月例祭執行 午前10時30分  
祭典後、信徒会総会・新年会

9日（月）

～22日（日）寒修行期間

●定時のご祈念（午前6時、午前10時）に参拝しましょう。

20日（金）信徒共励会 午前10時30分

21日（土）月例霊祭執行 午前10時30分

祭典後、大阪府連盟布教部講師の教話

29日（日）もちつき大会 節分豆まき 午前10時

### 2月

1日（水）月例祭執行 午前10時30分

4日（土）ご本部月参拝 午前6時教会出発

5日（日）うりわり墓参 午前7時

12日（日）月例祭執行 午前10時30分

17日（金）信徒共励会 午前10時30分

23日（祝日）月例霊祭並びに

二代教会長和田こゆみ先生例年祭（52年）執行  
午前10時30分

祭典後教話、大阪府連盟布教部講師

23日（祝日）道の子アイススケート大会

浪速スケート場 午後1時30分

### 3月

1日（水）月例祭執行 午前10時30分

年間行事予定は、スマートフォンでQR  
コードを読み取って確認できます。→

